

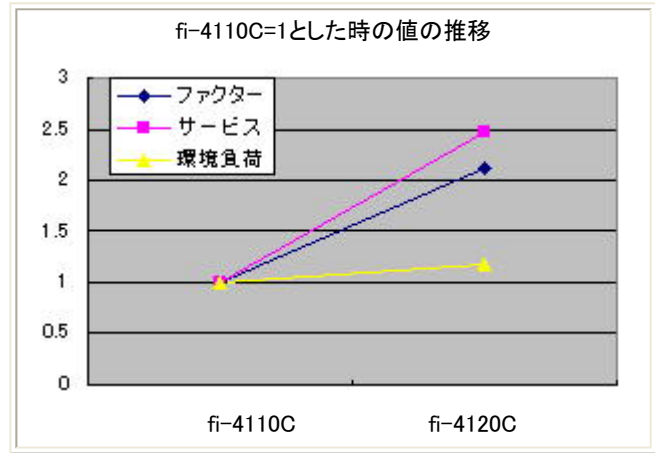
スキヤナの環境効率指標「ファクターX」について

富士通株式会社と当社は共同で、ユーザから見たサービス(=製品機能)を定量化、また製品のライフサイクルを通じたCO2排出量を環境負荷に採用し、スキヤナに関する環境効率ファクターを試行・算出しました。

■ スキヤナの環境効率ファクター算出結果

1999年春に発売のデスクサイドに置けるコンパクトなボディの両面カラー原稿対応型イメージスキャナ「fi-4110C」から2002年春に発売の毎分25枚*の高速読取りを実現した「fi-4120C」では、環境効率ファクターが**2.13倍**改善されました。

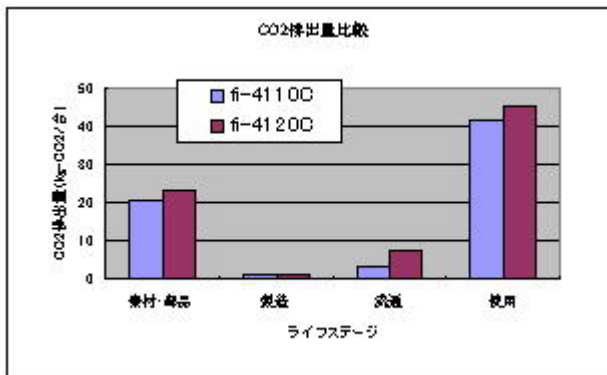
*A4片面原稿：カラー150dpiまたはモノクロ200dpi



$$\text{環境効率ファクター} = \frac{\text{サービス(新旧製品の比)}}{\text{環境負荷排出量(新旧製品の比)}}$$

[環境効率ファクター算出式]

(分母): スキヤナの環境負荷排出量=1.16



環境負荷排出量は、製品のライフサイクルを通じたCO2排出量を採用。

- ・ 製造：最終組立サイト
- ・ 流通：最終組立サイトからユーザーまで
- ・ 使用：使用2時間/日、待機6時間/日
年間240日・5年間を想定。

※回収・廃棄は新旧の差異が無いと想定し、今回は調査対象外とした。

(分子): スキヤナのサービス定量化=2.469

機能・性能		単位	fi-4110C	fi-4120C	新旧比	
[大項目]	[小項目]				比率	2乗和平均
光学性能	基本解像度	dpi	300	600	2.00	3.808
	読取り速度	ipm	5	25	5.00	
媒体処理性能	最大原稿サイズ	mm	210×297	210×297	1.00	1.240
	原稿厚さ	kg/連	49-90	45-110	1.44	
データ処理性能	画像処理・圧縮機能	機能数	4	6	1.50	1.500
					2乗和	2.469

サービスは、スキヤナの特徴、及び他機種との統合性を考慮し、**光学性能・媒体処理性能・データ処理性能**の製品機能を比較定量化。

PFUのイメージスキャナは 紙書類の電子化によるビジネスの効率化をグローバルに支援しています